

## 教育研究評議会議事録（第172回）

日 時：平成30年10月25日（木） 15時00分～16時41分

場 所：事務局2階 第一会議室

出席者：岩淵、小川、菅原、佐々木、上村、八代、喜多、横山、船崎、高畑、佐藤、関野、  
齋藤、宮本、松岡、山本（昭）、宇佐美、田代、菊地、藤代、長田、倉島、山本（欣）

欠席者：丸山、吉川、遠藤、比屋根、萩原

### 配付資料

報告1-1	教員人事に関する報告について（理工学部）
報告1-2	教員人事に関する報告について（農学部）
報告2	学長・副学長会議報告について
報告3	平成31年度入試委員会（第4回）記録（案）
報告4	平成31年度入学試験実施結果
報告5	2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申案）【概要】
意見交換1-1	科研費獲得状況の可視化（総額順）
意見交換1-2	平成31年度国立大学改革関連予算案の概要

議事に先立ち、前回議事録について原案のとおり議事録を確定することとした。

### 議 題

#### 1. その他

なし

### 報 告

#### 1. 教員人事について

理工学部長から1件、農学部長から1件、資料に基づき、教員人事について報告があった。

#### 2. 学長・副学長会議報告について

学長から、資料に基づき、学長・副学長会議（第129～132回）について報告があった。

#### 3. 入試委員会報告について

入試課長から、資料に基づき、入試委員会（第4回）について報告があった。

#### 4. 入試結果の報告について

入試課長から、資料に基づき、平成31年度入学試験実施状況（学部のAO入試 ま

で、大学院の推薦・第1期まで)について報告があった。

## 5. その他

- ・学長から、10月17日(水)に行われた国立大学協会政策会議の概要として、2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申案)について報告があった。なお、学長から、11月2日(金)には国立大学協会通常総会が予定されており、必要に応じて教育研究評議会に情報提供することが述べられた。

## 意見交換

### 1. 科研費採択状況の経年的変化について

始めに、学長から、研究戦略の検討に向けて、近年の本学教員の科研費獲得状況を取りまとめるようIR室に依頼したことの説明があり、次いで、喜多副学長から、資料に基づき、2004年から2018年までの科研費の獲得状況について、国立情報学研究所の科学研究費助成事業データベースを基に、各学部の課程・学科・コース毎に総額順の科研費獲得状況を取りまとめたことの報告があり、その後、意見交換を行った。

学長から、教員363人中75人(約20%)がこれまで一度も科研費を獲得できていないことの指摘があり、また、喜多副学長から、比較的若い世代の教員が科研費を獲得している反面、50,60代の教員の獲得が少ないことの指摘があった。

さらに、学長から、今後はこの結果を分析し、より有効な研究支援を行うよう検討したいと考えていることが述べられた。

加えて、学長から、資料に基づき、平成31年度国立大学改革関連予算案の概要について説明があった。関連して、数理・データサイエンス教育の強化への支援に係る調書の提出に向けて検討していることの報告があり、各学部においてもアプローチ出来るようなものを検討するよう付言があった。

学長から、次回の教育研究評議会を、11月22日(木)の15時から開催することが述べられた。